

## 1 学校安全対策の基本的な考え方

児童の安全を守るために、職員は常に危機管理意識・防災意識を高めるとともに、訓練を実施して、非常時の対応、防災設備の扱い方などを理解する。また、大地震などの自然災害時は地域の避難場所に指定されていることへの対応にも配慮する。

## 2 災害ごとの防災体系

| 事態        | 対応                                   | 事前対策（日常指導以外）                           | 連携機関（教委は除く）     |
|-----------|--------------------------------------|--|-----------------|
| 大雨風・台風・大雪 | ① 安全な下校<br>② 臨時休校                    | ① 一斉下校・<br>引渡し後の訓練                     | ① 警察署<br>② 町校長会 |
| 地震（大地震）   | ① 避難<br>② 安全な下校<br>③ 臨時休校<br>④ 避難所運営 | ① 避難訓練<br>② 引渡し下校<br>③ 学区町内会等防災<br>懇談会 | ① 町校長会<br>② 町役場 |
| 学校火災      | ① 避難 ② 消火<br>③ 復旧④再発防止               | ① 避難訓練<br>② 消火訓練                       | 消防署             |

## 3 避難について

災害（地震、火災、津波、悪天候等）や不測の事態（事故、事件等）により避難が必要な場合のため、確認・訓練をする。

## 4 避難経路

火災時による避難経路を、必携にて確認する。

## 5 非常時持ち出し袋

非常時の避難に備えて、次のものをリュックサックに入れ、職員室後ろの安全本部旗のそばに置いておく。（児童名簿は管理職が持っていく。）

### 非常時持ち出し袋

- 引渡しカード
- ハンドマイク（乾電池）
- 救急セット
- 在籍・現有確認チェック表（教頭作成）
- 幸保愛児園職員名簿
- 携帯ラジオ
- 筆記用具

### 保健室より

- 欠席調べ

## 6 災害発生から避難場所集合までの流れ

### 緊急放送①（教頭） 1次避難：その場での避難

- ・担任は教室で児童の安全を図る。（授業中）
- ・担任は教室へ、特別教室にいる担当はそこにいる児童の安全を図る。（授業以外）
- ・職員室にいる職員は以下のことをする。（教頭以外）
  - \*防災監視板で火災現場を確認し、電話を持って、確認に行く。
  - \*火災の場合は消防署へ連絡
  - \*地震・津波の場合は情報を得るため役場へ連絡
  - \*必要に応じて警察へ連絡
  - \*教頭は職員室に待機し、児童職員への指示（放送）を優先する。
- ・管理職（Aグループを含む）で安全本部を設置、避難場所を決定する。  
（この時点ではAグループが全員集まらなくてもよいこととする。）
- ・火災のときは非常ベルが鳴る。
- ・火災のときは近くにいる職員が初期消火を行う。



### 緊急放送②（教頭） 2次避難：避難場所へ避難（校庭、体育館、屋上）

- ・児童の防災頭巾、ハンカチ等、職員のヘルメット等の確認。
- ・避難経路の安全（特に防火扉）に気をつけて児童を避難誘導する。
- ・避難誘導途中検索も行う。
- ・職員室にいる職員（校長・事務職員・業務員・Aグループが中心）は本部の用意（本部旗、非常時持ち出し袋、マイク）の準備をし、本部を設定する。
- ・養護教諭は欠席調べ、救急用具の準備と保健室にいる児童の誘導をする。状況によっては応援を頼む。
- ・コスモス児童は近くにいる教職員の協力のもと速やかに避難させる。
- ・ガスの元栓については業務員にお願いする。（不在のときはだれもが元栓を閉められるようにする。）



### 避難場所集合

- ・並び方はどの場所でも避難してきた順に本部前から列が交錯しないように並ぶ。
- ・担任は児童数を確認し、本部に報告する。
- ・行方不明児童の検索をする。
- ・安全本部で今後の対策を検討する。（校外避難、児童引渡し等）

## 7 引き渡し

引き渡しは自然災害（大雨・台風・大雪・大規模地震など）その他必要に応じてAグループ及び管理職の判断に基づいて実施する。

### (1) 連絡方法

災害用電話171、HP&メール配信、（緊急連絡網）、町の防災放送、その他ラジオ等

### (2) 引き渡し場所

- 学校（教室・体育館・校庭）
- 校外避難場所

### (3) 引き渡し方

- 兄弟姉妹がいる場合は、上の学年の児童から順に引き渡す。
- 幸保愛児園の児童は1ヶ所に集め引き渡す。
- 事故発生予防のため、大規模地震時は、引き渡しカードに記載されている方へのみ引き渡し、その際、カードに引き渡した人の氏名・日時を記入してもらう。それ以外の時は、保護者・家族へ引き渡す。
- 引き渡し時の保護者案内を廊下へ掲示する。
- ※お迎えが来るまでは原則学校で待機。（担任が連絡をとる。）

## 8 一斉下校

一斉下校は、自然災害（大雨・台風・大雪など）、その他必要に応じて、Aグループ及び管理職の判断に基づいて実施する。

その際には、横断歩道の混雑緩和および整理、その他の場所における下校時の安全確保のため、決められた場所に立って指導する。

### (1) 一斉下校の流れ（すべて放送で指示）

○学年ごとに下駄箱の靴、雨具を取りに行き、教室で待機する。

（1年・5年→2年・4年→3年・6年）

5年生は、東側階段を降りて、職員室前の廊下を通り、西側階段から教室へ戻る。

○兄弟姉妹が複数いる場合は、一番下の兄弟姉妹がいる学年の教室内で待機する。

○以下の順で、1分程度あけて下校をする。兄弟姉妹がいる場合は、一番下の学年とともに同じ昇降口から下校する。

1・5年→2・4年→3・6年

### (2) 職員の指導体制

- 本部を設置（校長・教頭・養護教諭・Aグループ）
- 職員が立つポイントは別紙の地図参照（P10参照）

### (3) 事前指導

- 一斉下校の流れを伝え、理解させる。
- 靴を持っていく時は、上履きは下駄箱にしまうように指導する。
- 安全に帰るために、移動や下校の時には、速やかに静かに行動できるように指導する。